



令和7年度スポーツ施設等安全管理講習会  
令和7年5月19日～30日

## なくそう！学校の管理下での事故

独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

日本スポーツ振興センター



# 日本スポーツ振興センター ～業務の紹介～

スポーツ振興くじ・スポーツ  
振興基金と助成事業



国立登山研修所



秩父宮記念スポーツ  
博物館・図書館



スポーツ・インテグリティ・  
ユニット



災害共済給付事業部



## JAPAN SPORT COUNCIL

日本スポーツ振興センター

国立競技場



秩父宮ラグビー場



国立代々木競技場



ハイパフォーマンス  
スポーツセンター



味の素ナショナル  
トレーニングセンター



国立スポーツ科学  
センター (JISS)



味の素フィールド西が丘



1

# 災害共済給付

～業務内容や制度について～



## 昭和35年以前の事柄と制度設立の経緯

### ■学校の集団的災害が多数発生

- 昭和29年 相模湖事件  
(東京麻布中学校生徒 22名が死亡)
- 昭和30年 紫雲丸海難事件  
(修学旅行児童生徒 100名が死亡)
- 昭和30年 三重県津海岸水難事件  
(水泳訓練中の女子生徒 36名が死亡)



いずれの事故も、どこからも何の補償もなし。

### ■各地で学校災害に関して、活発な動きが始まる

- 昭和30年4月には島根県で「島根県学校児童生徒傷害補償組合」が発足され、学校の管理下における児童生徒等の災害補償を行い、他の都道府県においても真剣に検討されることとなった。
- このような動きが全国に広まり、島根県、愛知県を中心に昭和32年に「全国学校安全会連絡協議会」を結成し、「学校安全共済の法制化」を波状陳情した。



# 災害共済給付制度の必要性と基本的性格

## ●災害共済給付制度 = 「学校教育の円滑な実施に資する」ための制度

- ・ 学校等の管理下の災害に対して医療費等を給付することにより、被災児童生徒を救済するとともに、学校や教職員を救済(支援)することを目的としている。

⇒治療費負担を巡るトラブルを回避することで、学校現場が萎縮することなく、教職員が安心して教育活動に取り組めるようにという願いが込められている。

## ●災害共済給付制度 = 学校・設置者が「道義的責任」を果たすための制度

- ・ 学校の管理下で発生した災害に対しては、学校・設置者にも一定の責任ある対応が求められる。

⇒学校の設置者が契約当事者となり、被災児童生徒の保護者に代わり、給付金の請求等の事務を担う(民間保険の団体契約とは性格が異なる)。

⇒JSCとの役割分担のもと、本制度の運営(請求・支払事務)の一翼を担う。

⇒共済掛金について、学校の設置者にも費用負担を求めている(義務教育は半額程度)。



# 災害共済給付の種類



学校の管理下の

負傷

疾病

障害

死亡

障害見舞金

医療費

死亡見舞金

災害共済給付

付帯業務

へき地通院費

供花料

歯牙欠損見舞金



## 学校等の管理下の範囲

- 授業中(保育中)
- 課外指導中
- 休憩時間中
- 通学中(通園中)
  - 学校の寄宿舎にあるとき
  - 学校外の授業等が行われる場所と自宅を往復する間



学校内で起こった災害であっても  
学校の管理下に該当しない場合は給付の対象とならない

<例> PTA行事、町内会行事、帰宅後学校へ遊びに来ていた時





徳島県観光情報サイト阿波ナビより

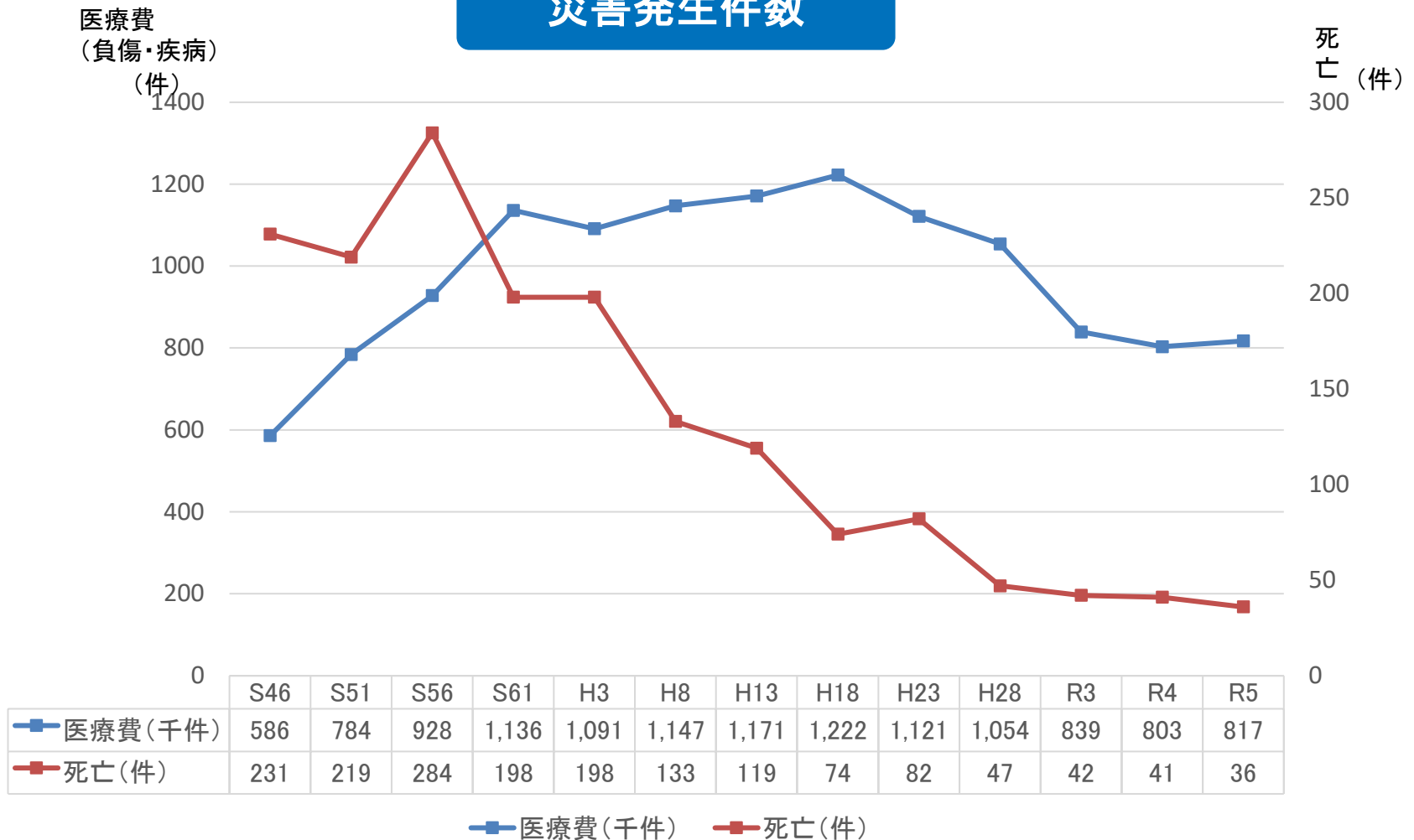
## 2

## 災害発生状況(全国・徳島県)



# 【全国】～災害共済給付状況～

## 災害発生件数



## 【全国】令和5年度 給付実績(速報値)

| 区 分  | 加入者数<br>(除要保) | 医 療 費   |           |                | 障害見舞金 |               | 死亡見舞金 |             | 合 計       |                |
|------|---------------|---------|-----------|----------------|-------|---------------|-------|-------------|-----------|----------------|
|      |               | 発生件数    | 給付件数      | 給付金額           | 件数    | 給付金額          | 件数    | 給付金額        | 件数        | 給付金額           |
| 小学校  | 6,088,841     | 283,474 | 448,746   | 2,218,326,149  | 44    | 150,290,000   | 7     | 195,000,000 | 448,797   | 2,563,616,149  |
| 中学校  | 3,212,455     | 251,897 | 496,059   | 3,309,252,102  | 55    | 269,410,000   | 15    | 342,000,000 | 496,129   | 3,920,662,102  |
| 高・全日 | 2,930,134     | 203,888 | 544,542   | 6,026,170,105  | 187   | 873,656,000   | 8     | 238,000,000 | 544,737   | 7,137,826,105  |
| 高・定時 | 68,628        | 1,980   | 4,110     | 37,318,706     | 4     | 59,650,000    | 0     | 0           | 4,114     | 96,968,706     |
| 高・通信 | 235,263       | 783     | 2,952     | 34,712,115     | 4     | 11,900,000    | 1     | 15,000,000  | 2,957     | 61,612,115     |
| 高 専  | 55,962        | 1,800   | 4,448     | 54,075,524     | 1     | 2,250,000     | 3     | 40,500,000  | 4,452     | 96,825,524     |
| 幼稚園  | 668,196       | 13,093  | 19,811    | 84,101,749     | 3     | 20,850,000    | 0     | 0           | 19,814    | 104,951,749    |
| 幼保連携 | 710,468       | 18,600  | 25,680    | 103,594,042    | 1     | 2,250,000     | 1     | 30,000,000  | 25,682    | 135,844,042    |
| 保育所等 | 1,682,945     | 41,655  | 56,620    | 222,089,821    | 9     | 58,000,000    | 1     | 30,000,000  | 56,630    | 310,089,821    |
| 合計   | 15,652,892    | 817,170 | 1,602,968 | 12,089,640,313 | 308   | 1,448,256,000 | 36    | 890,500,000 | 1,603,312 | 14,428,396,313 |



### 全国の学校・保育所等 (加入率94.8%)

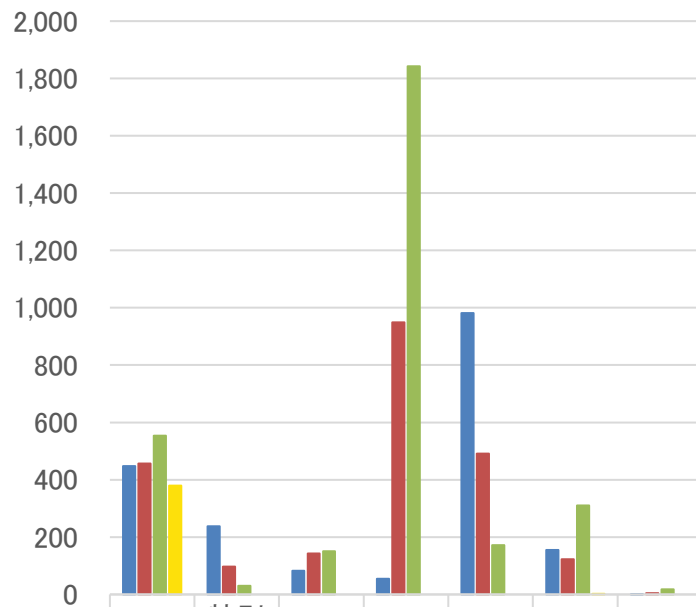
加入者数 約 1, 5 6 5 万人  
 発生件数 約 8 1 万件  
 給付金額 約 1 4 4 億円



# 【全国】障害種別・場合別給付状況

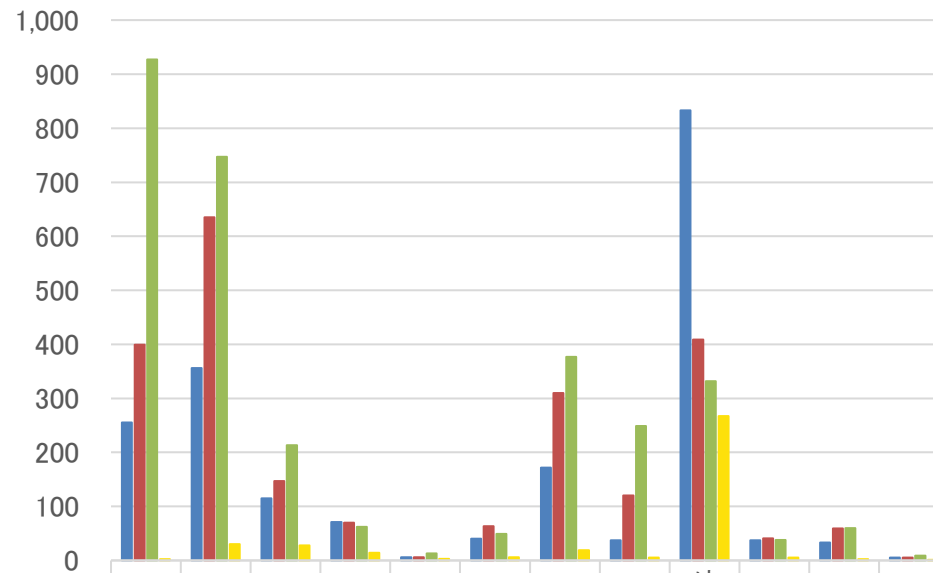
平成17年度～令和7年1月時点(7, 682件)

場合別



| 場合別         | 小学校 | 中学校 | 高等学校  | 幼・保・こども園 |
|-------------|-----|-----|-------|----------|
| 各教科等        | 448 | 457 | 554   | 380      |
| 特別活動(除学校行事) | 238 | 97  | 30    |          |
| 学校行事        | 82  | 143 | 150   |          |
| 課外指導        | 55  | 949 | 1,842 |          |
| 休憩時間        | 981 | 491 | 172   |          |
| 通学中         | 155 | 123 | 310   | 2        |
| 寄宿舎にあるとき    | 1   | 4   | 18    |          |

障害種別



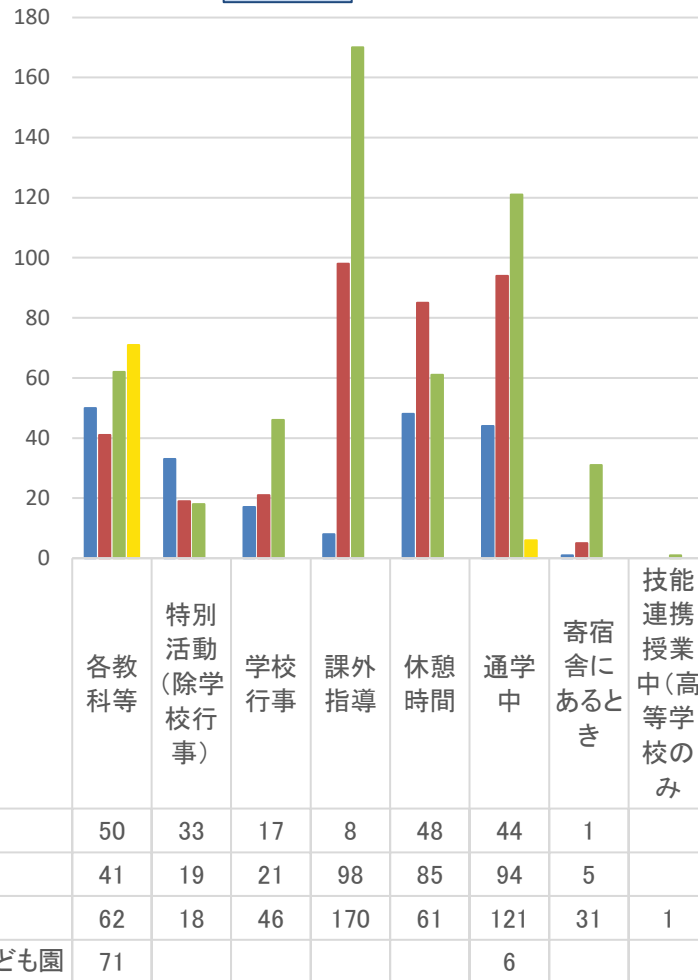
| 障害種別         | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 幼・保・こども園 |
|--------------|-----|-----|------|----------|
| 歯牙障害         | 255 | 399 | 927  | 2        |
| 視力・眼球運動障害    | 356 | 635 | 747  | 30       |
| 手指切断・機能障害    | 115 | 147 | 213  | 28       |
| 上肢切断・機能障害    | 71  | 70  | 62   | 14       |
| 足指切断・機能障害    | 6   | 6   | 13   | 3        |
| 下肢切断・機能障害    | 40  | 63  | 49   | 6        |
| 精神・神経障害      | 172 | 310 | 377  | 19       |
| 胸腹部臓器障害      | 37  | 120 | 249  | 5        |
| 外貌・露出部分の醜状障害 | 833 | 409 | 332  | 267      |
| 聴力障害         | 37  | 41  | 38   | 5        |
| せき柱障害        | 33  | 59  | 60   | 2        |
| その他機能障害      | 5   | 5   | 9    | 1        |



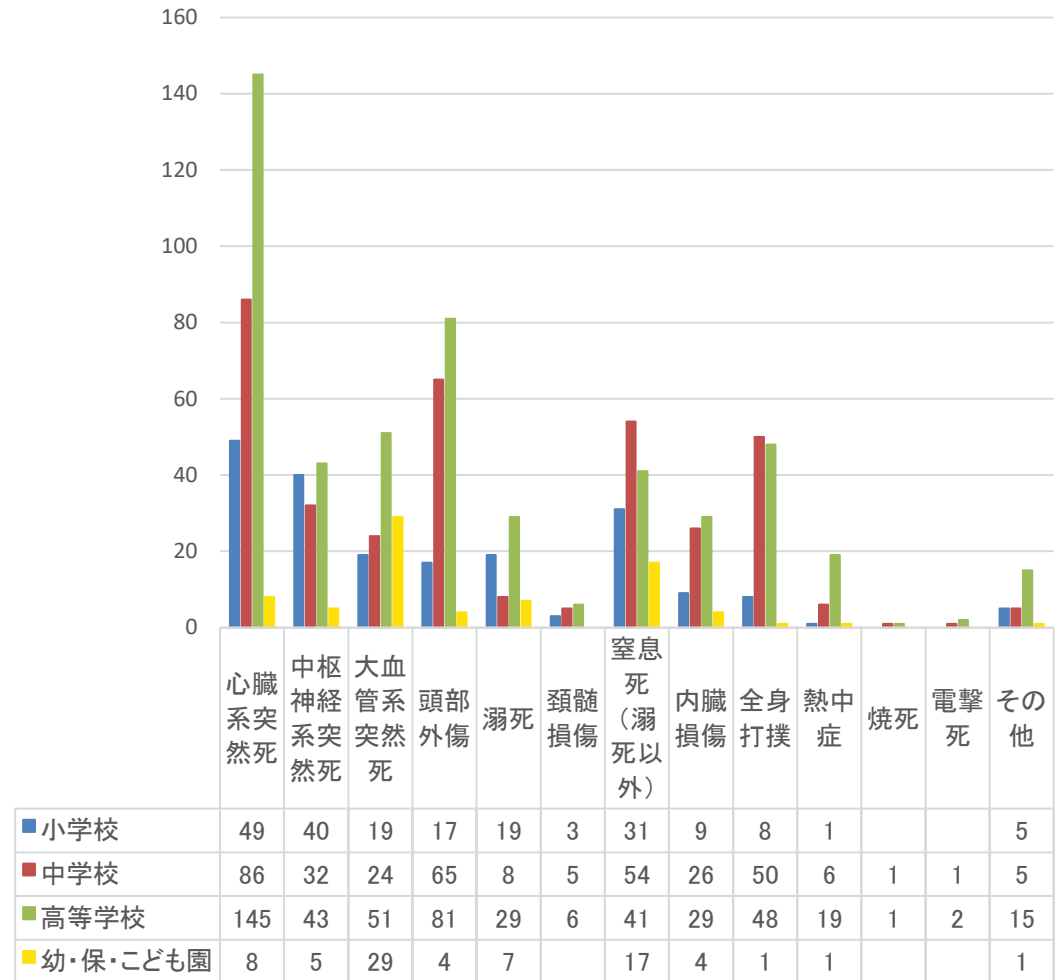
# 【全国】死亡種別・場合別状況

平成17年度～令和7年1月時点(1,151件)

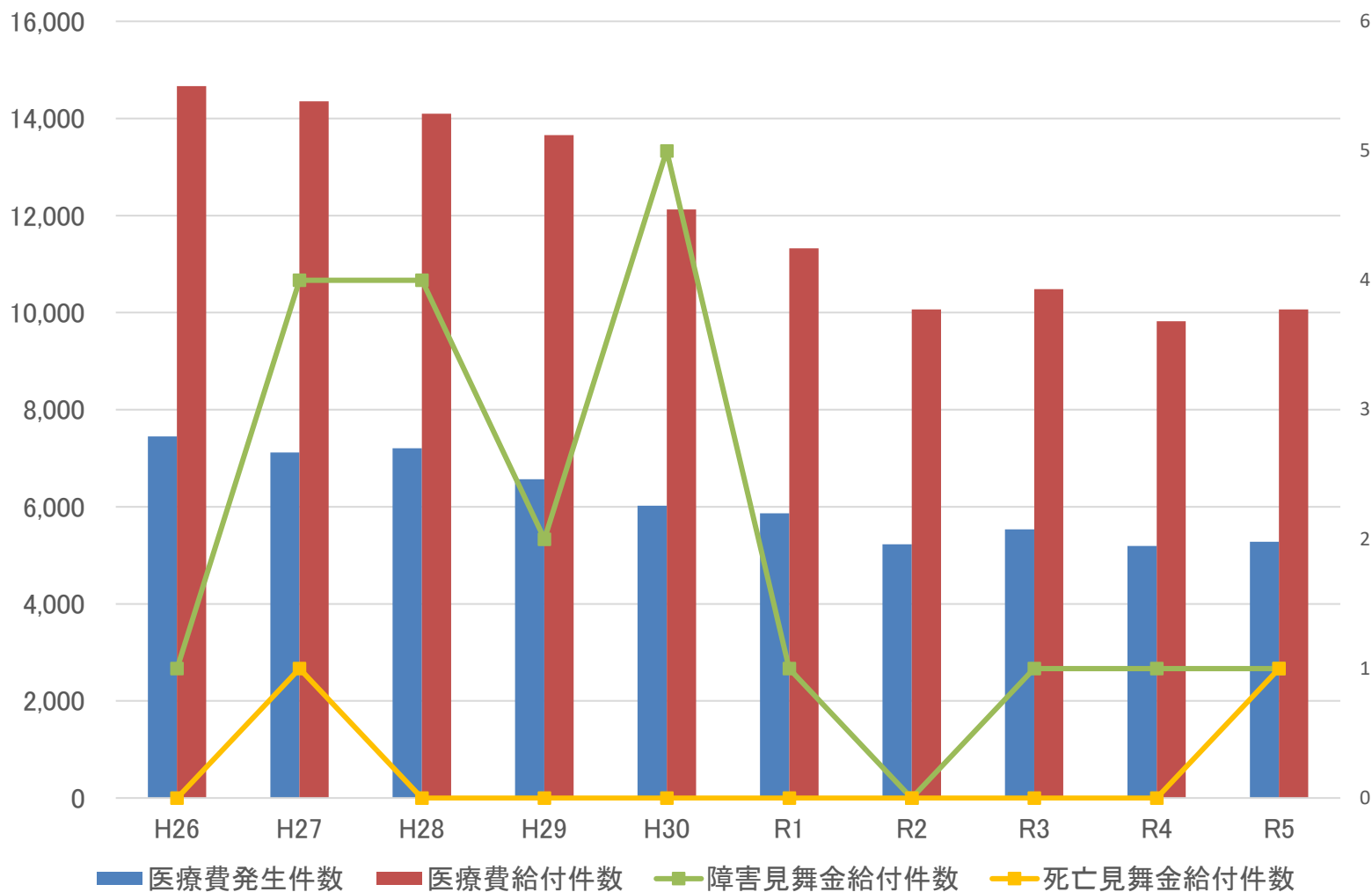
場合別



死因別



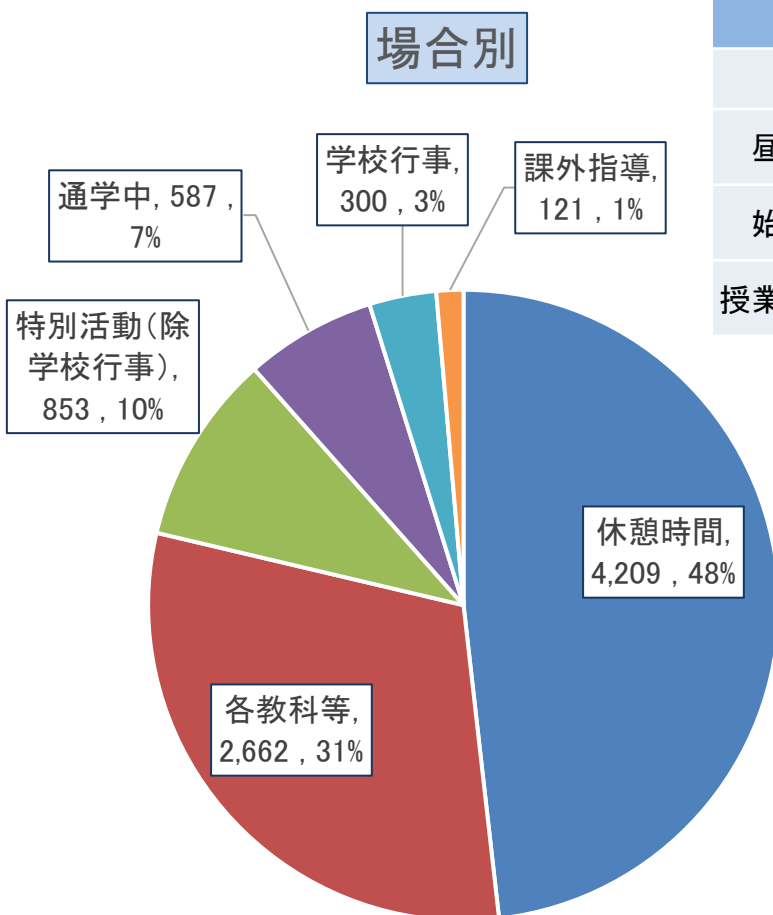
## 【徳島県】災害共済給付の給付状況の推移 (平成26年度～令和5年度)



# 【徳島県】小学校の災害発生割合

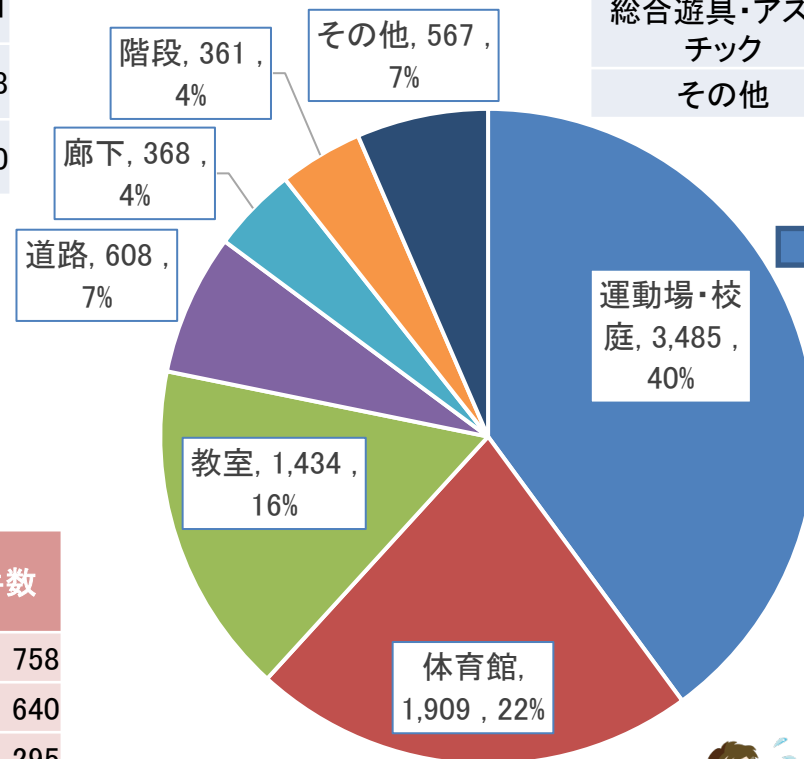
(令和元年度～令和5年度 医療費支給件数 8,732件)

場合別



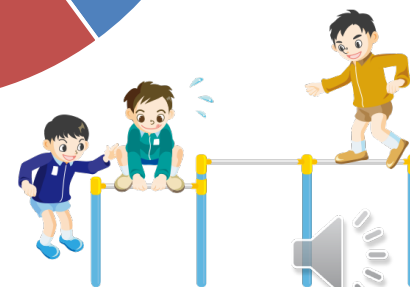
| 場合別        | 件     |
|------------|-------|
| 休憩時間中      | 1,940 |
| 昼食時休憩時間中   | 1,501 |
| 始業前の特定時間   | 418   |
| 授業終了後の特定時間 | 350   |

場所別



| 遊具施設名<br>(654件) | 件数  |
|-----------------|-----|
| 鉄棒              | 231 |
| 雲てい             | 79  |
| ぶらんこ            | 62  |
| ジャングルジム         | 47  |
| すべり台            | 44  |
| 砂場              | 27  |
| 総合遊具・アスレチック     | 26  |
| その他             | 138 |

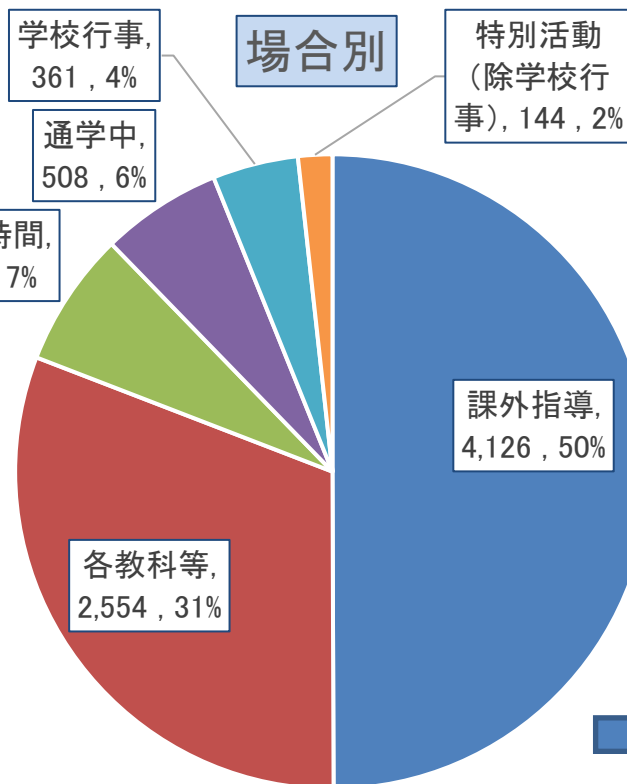
| 運動指導別<br>(2,142件) | 件数  |
|-------------------|-----|
| 球技                | 758 |
| 器械体操・新体操          | 640 |
| 準備運動等             | 295 |
| 陸上競技              | 235 |
| 運動なし              | 78  |
| 水泳                | 56  |
| その他               | 80  |



# 【徳島県】中学校の災害発生割合

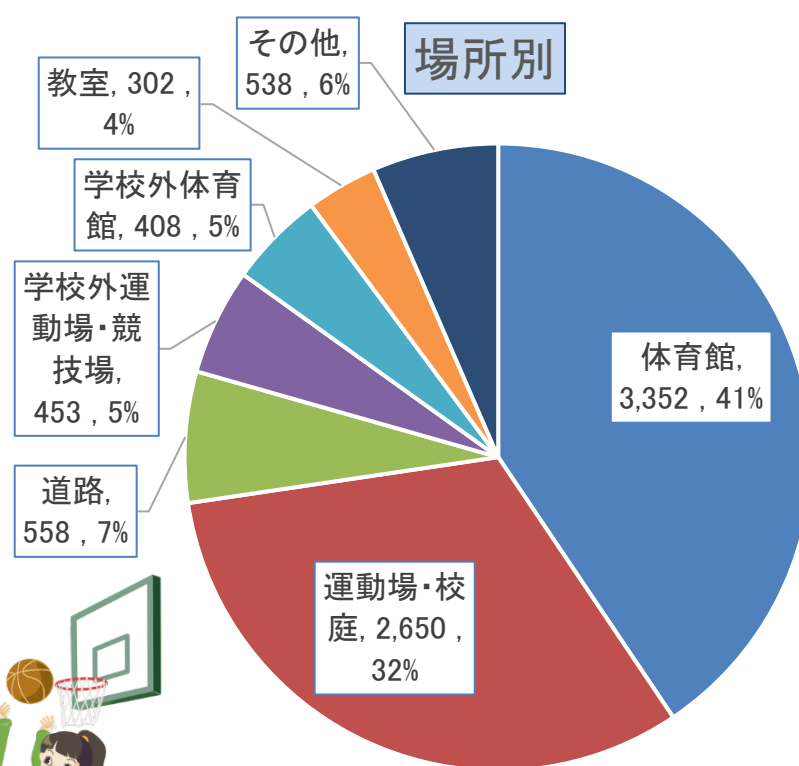
(令和元年度～令和5年度 医療費支給件数 8, 261件)

場合別



| 体育的部活動<br>(4, 059件) | 件   |
|---------------------|-----|
| バスケットボール            | 934 |
| サッカー・フットサル          | 680 |
| バレーボール              | 527 |
| 野球部(含軟式)            | 424 |
| テニス(含ソフトテニス)        | 392 |
| 陸上競技部               | 379 |
| 武道等                 | 302 |
| その他                 | 421 |

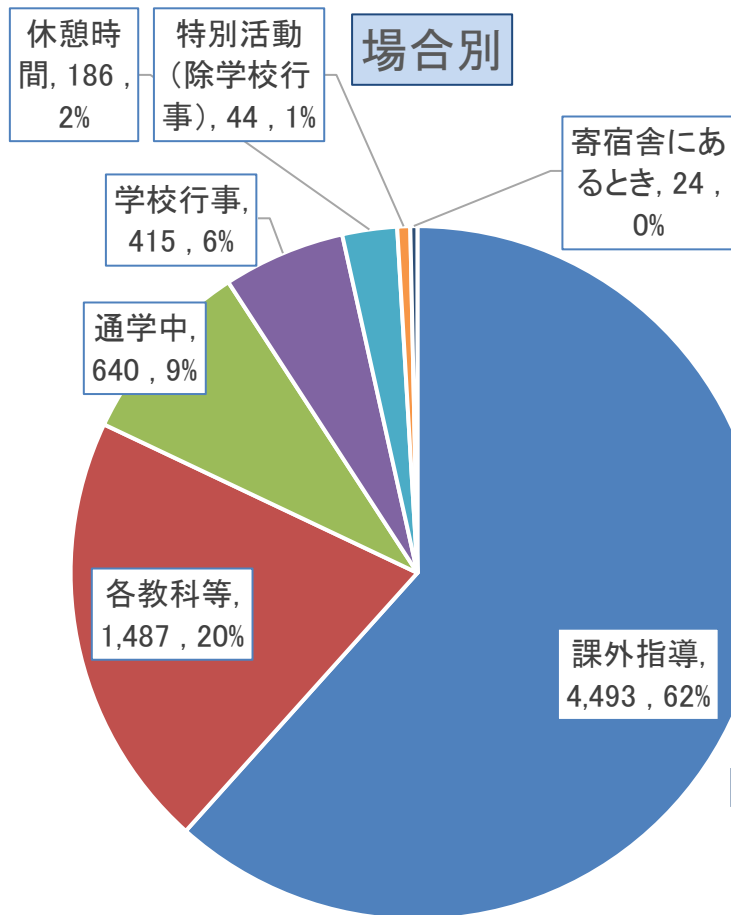
場所別



# 【徳島県】高等学校の災害発生割合

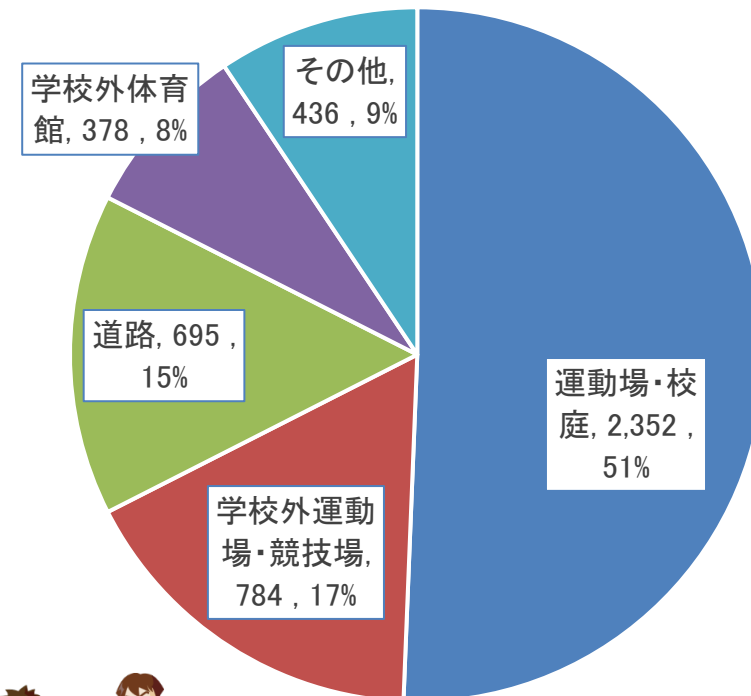
(令和元年度～令和5年度 医療費支給件数 7, 289件)

場合別



| 体育的部活動<br>(4, 443件) | 件   |
|---------------------|-----|
| サッカー・フットサル          | 871 |
| バスケットボール            | 793 |
| 野球部(含軟式)            | 615 |
| バレーボール              | 338 |
| ラグビー                | 406 |
| 武道等                 | 277 |
| 陸上競技部               | 248 |
| ハンドボール              | 207 |
| その他                 | 688 |

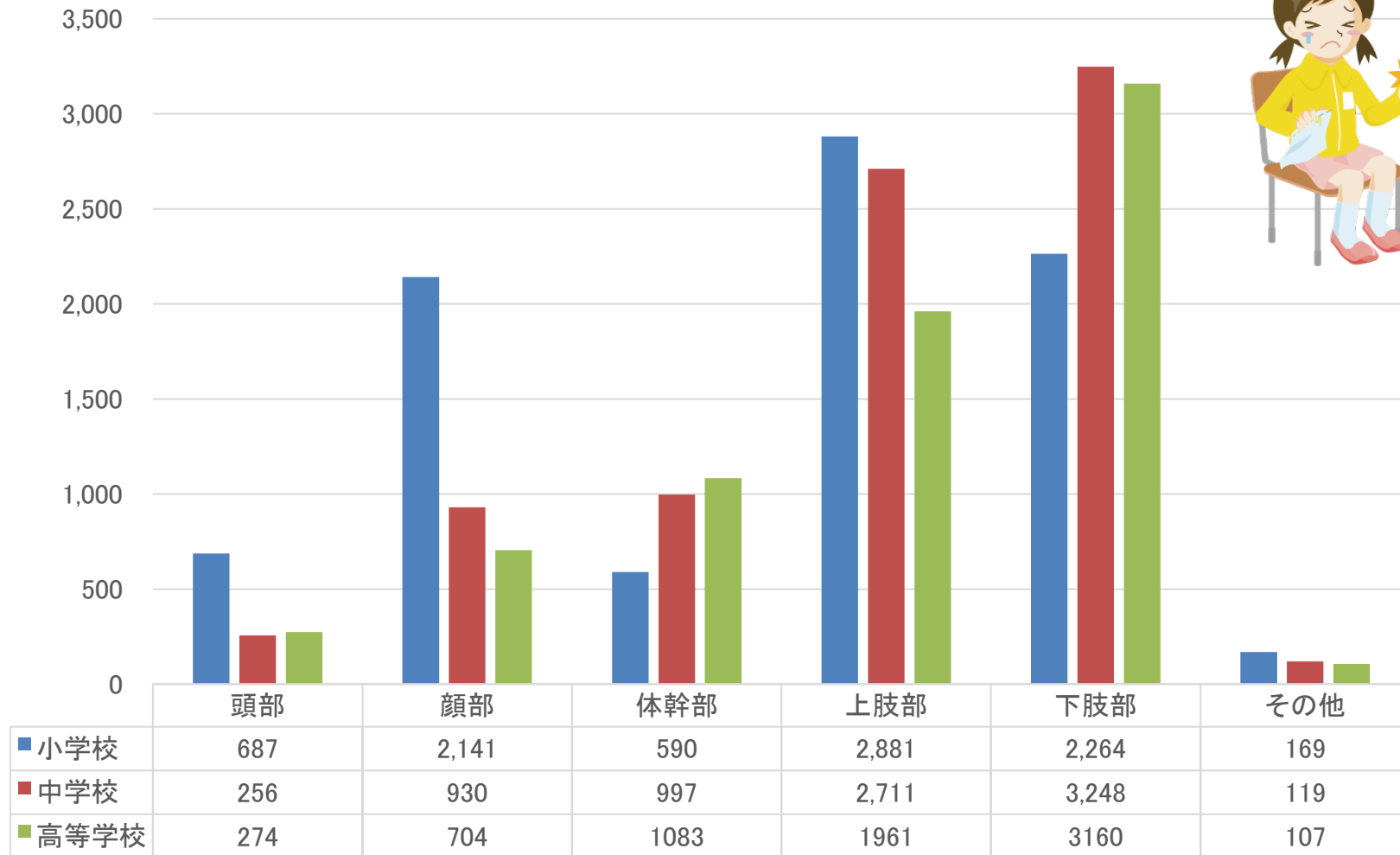
場所別



# 【徳島県】負傷・疾病の部位別割合

発生件数：24, 282件（令和元年度～令和5年度）

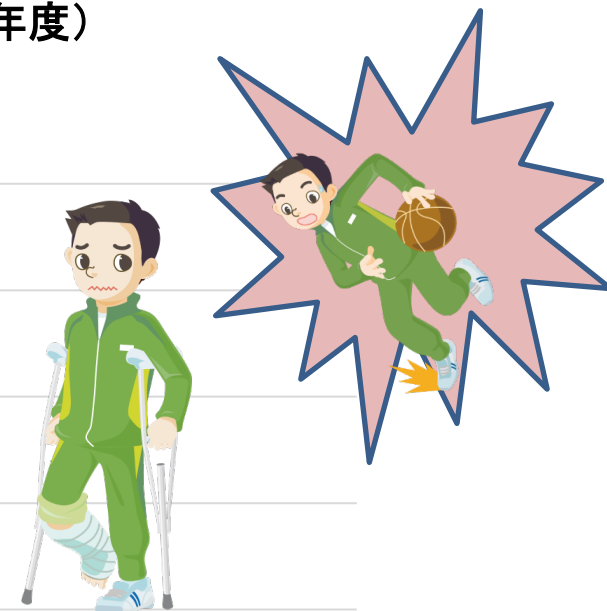
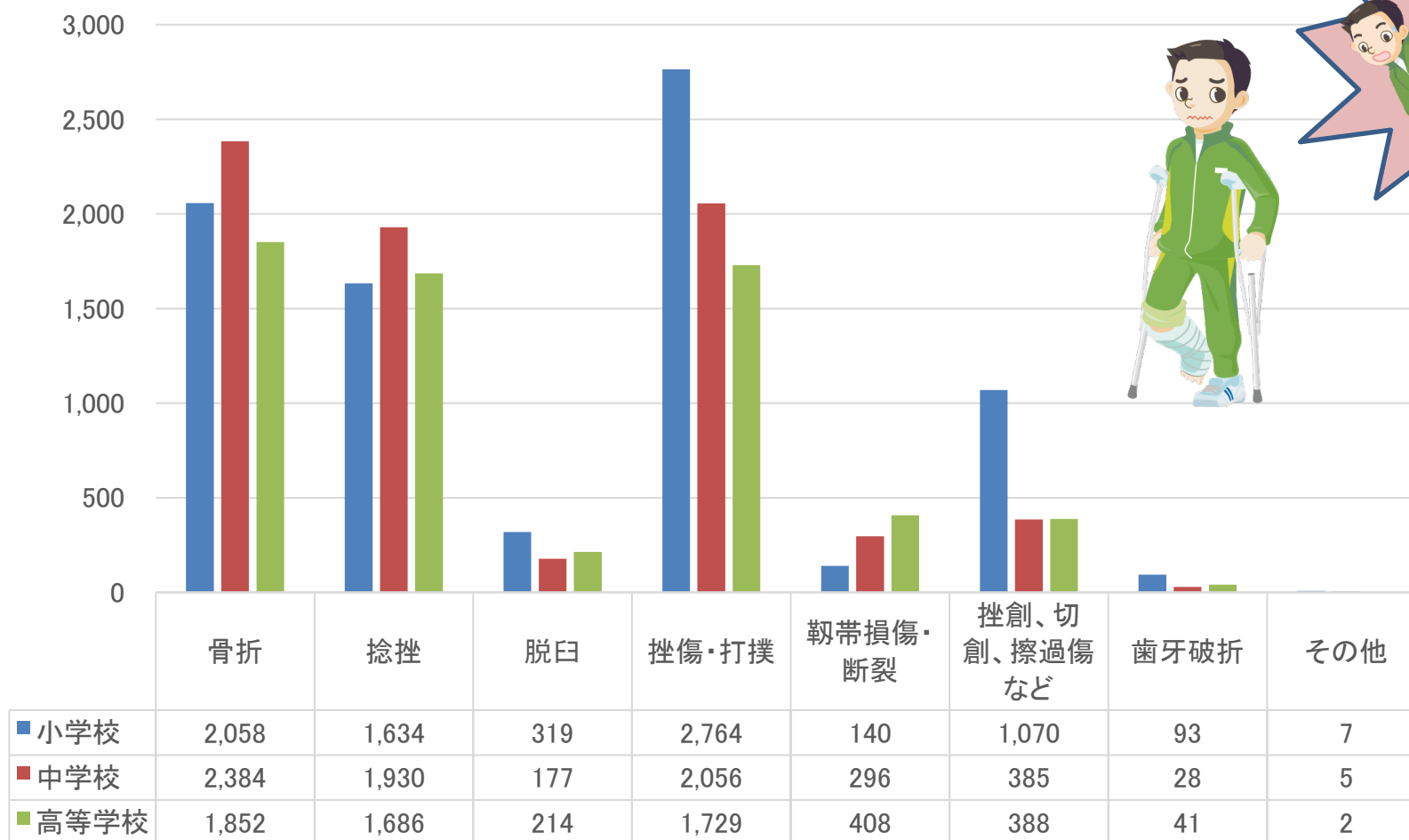
※小・中・高等学校（高等専門学校含む）



# 【徳島県】負傷の種類別割合

発生件数：21,666件(平成30年度～令和4年度)

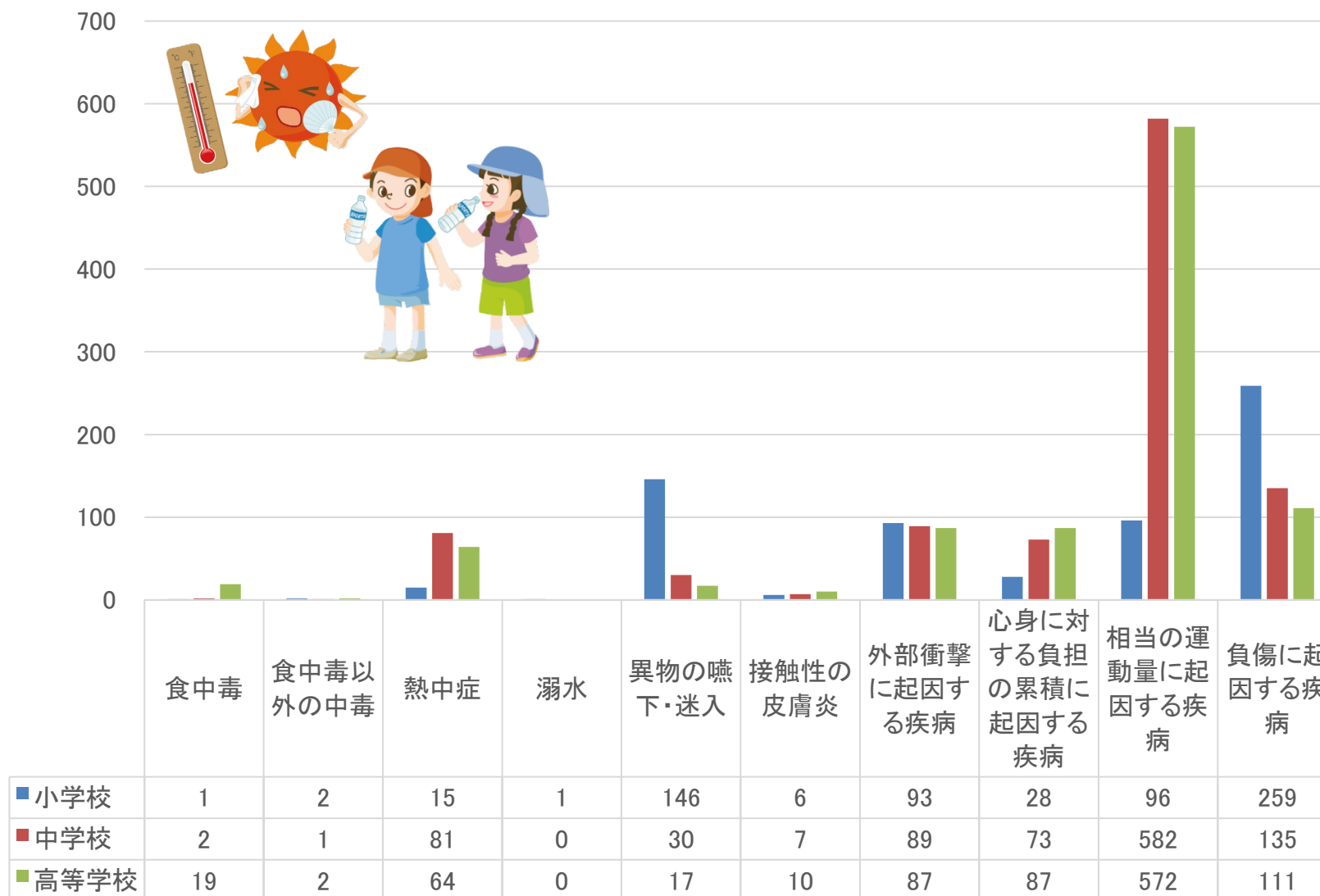
※小・中・高等学校(高等専門学校含む)



# 【徳島県】疾病の種類別割合

発生件数: 2, 616件(令和元年度～令和5年度)

※小・中・高等学校(高等専門学校含む)

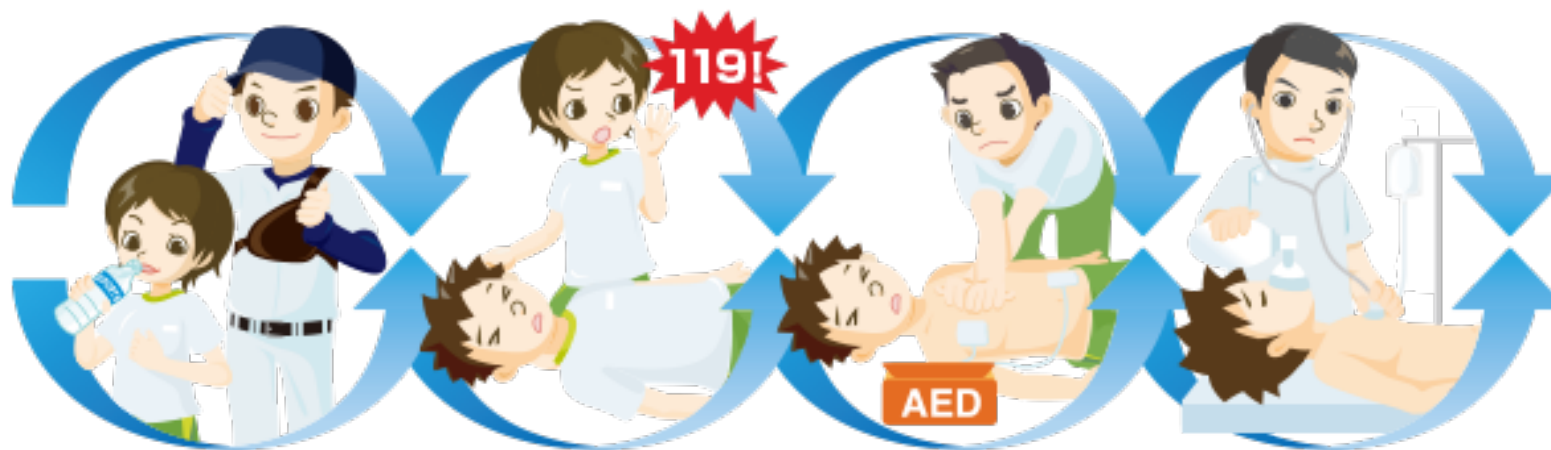


# 3 なくそう！学校の管理下の事故



# 心停止に対する応急手当

## 救命の連鎖



| 第1の鎖   | 第2の鎖                      | 第3の鎖                             | 第4の鎖              |
|--------|---------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 心停止の予防 | 早期認識と通報<br>(迅速な通報と心停止の確認) | 一次救命処置<br>(迅速な心肺蘇生とAEDによる電気ショック) | 二次救命処置と心拍再開後の集中治療 |

出典:「学校における突然死予防必携一改訂版」



# 心停止に対する応急手当①～ 早期認識と通報

## ★迅速な通報と心停止の確認

初めの2～3分間にする行動が、その者の救命を決定する！



参考：スポーツ事故防止ハンドブック



# 心停止に対する応急手当②～ 一次救命処置

## ★迅速な心肺蘇生とAEDによる電気ショック

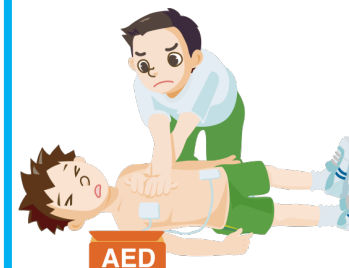
**胸骨圧迫** → **気道確保** → **人工呼吸** の手順で！

※水の事故(溺水)では、気道確保と人工呼吸を優先してください。

●強く、早く、絶え間ない胸骨圧迫を！ ●すぐにAEDを装着しよう！

### 1 心肺蘇生

- ただちに胸骨圧迫を開始する  
強く(成人は少なくとも5cm、小児は胸の厚さの約1/3)  
速く(少なくとも100回/分)  
絶え間なく(中断を最少にする)
- 人工呼吸ができる場合は30:2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える  
人工呼吸ができないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみを行う



### 2 AED装着

結果的に心停止ではない人に、胸骨圧迫を行ったりAEDを使用したりしても、大きな問題は起こりません。

### 3 心電図解析

電気ショックは必要か？

必要

不要

### 4 ショック1回

ショック後ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開 ※

### 5 ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開 ※

※ 強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける。

参考:スポーツ事故防止ハンドブック



## AEDの適正配置に関するガイドライン

心停止発生から長くても5分以内(心停止から5分以内に電氣的除細動を行うことができれば有意に生存率が高くなる)にAEDの装着ができる体制が望まれる。

※ AEDの適正配置に関するガイドラインより一部改変

### 運命の5分間 その時あなたは

- ・ 的確な状況判断
- ・ 迷った時には心肺蘇生とAEDの使用を！
- ・ 誰が何をすべきか明確な指示を！
- ・ 休みなく心肺蘇生を！
- ・ 日頃からAEDの場所を確認！
- ・ AEDを片道1分以内の場所に設置！
- ・ 日頃からAED使用法の訓練を！
- ・ AEDは到着後すぐ使用を！



※映像資料(DVD)「運命の5分間 その時あなたは ～突然死を防ぐために～」より



# 心停止の応急手当てに関する資料

## 映像資料（DVD）

『運命の5分間 その時あなたは ～突然死を防ぐために～』（9分51秒）



心停止のサインである心室細動と死戦期呼吸についてCGとドラマでわかりやすく表現しています。

また、心肺蘇生とAED使用の必要性を理解できる構成となっています。



## 固定遊具の事故事例

|                                                                                                                                |          |             |              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------|--------------|
| 事例1                                                                                                                            | 小学校 4年・男 | 昼食時休憩時間中    | 運動場・校庭(雲てい)  |
| <p>昼休み、運動場で雲ていをして遊んでいた。自分のパーカーの袖を雲ていに結びつけた状態で遊んでいると、パーカーが首にかかってしまい、ぶら下がった状態になった。すぐに、病院に搬送し、治療を受けたが数日後に死亡した。(溺死以外の窒息死)</p>      |          |             |              |
| 事例2                                                                                                                            | 小学校 2年・女 | 授業終了後の特定時間中 | 運動場・校庭(登り棒)  |
| <p>放課後の運動場で、登り棒に登って遊んでいた。下校時刻になり、支柱から飛び降りる際に支柱のクロス状に交差した補助パイプの隙間に左手小指を挟み込み、そのまま体を落下させたために左手小指第2関節と第3関節の間から切断した。(手指切断・機能障害)</p> |          |             |              |
| 事例3                                                                                                                            | 小学校 1年・女 | 昼食時休憩時間中    | 運動場・校庭(すべり台) |
| <p>鬼ごっこをしていて、鬼にタッチされないようにすべり台の上に上がり、しゃがみこんだ際、他の児童が押したため地面に落下し、下顎を強く打ちつけ裂創を負った。(外貌・露出部分の醜状障害)</p>                               |          |             |              |



# 固定遊具の事故防止のポイント

## 安全で楽しい 遊具遊びのために！

日常の保育活動で起こり得る事故を未然に防ぎ、  
安全・安心に過ごせるようにしましょう。



## 遊具を安全に 管理するためのポイント

必ず専門家による定期点検を実施した上で、日常の点検を行うことが重要です！

### ポイント 1

点検は定期的・継続的・組織的に行いましょう。  
(著しい汚れや異物、ボルトの緩み、欠落、亀裂、劣化、摩擦、腐食、破損、変形、著しい塗装剥離等はないか。)



### ポイント 2

遊具の使用方法、危険な箇所を発見したときの対処方法、事故が起きた場合の対応をマニュアル化し、共通理解を図りましょう。

### ポイント 3

遊具の設置面に基礎が露出していないか確認し、落下等に備えて設置面にマットを敷くなどの対策を行いましょう。



### ポイント 4

ぐらつきは解消し、さびは取り除きましょう。

### ポイント 5

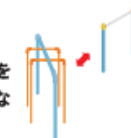
引っ掛けや絡まりを起こす部分は取り除きましょう。

### ポイント 6

けがをしたこどもを救助するため、大人が入れるようにしましょう。

### ポイント 7

他の遊具との距離を取り、周囲に十分な空間を作りましょう。



### ポイント 8

見通しの良い場所に設置しましょう。

### ポイント 9

石、ガラス、木の根、地面の凹凸など、遊具の周りの危険なものは取り除きましょう。



### ポイント 10

安全柵、落下防止柵を設置しましょう。

点検する際は、目視のみで終わらず、遊具の表面を触る・遊具をたたいて音を聞く・遊具を押してぐらつきを確かめる等、視覚・聴覚・触覚など様々な点で確認しましょう。

安全の確保ができない遊具は、すぐに使用を禁止し、必ず専門家に相談した上で問題の改善に取り組みましょう！



# 事故発生時の対応

## 乳幼児の 手指外傷への対応



### 切断指の取扱い

切断された指は  
ぬらしたガーゼ等で包み  
ビニール袋等に入れて※  
氷水に浸ける。  
※直接氷水に浸けない。

### 傷の確認

- 傷口が開いている
- 傷が深い  
(深そうに見える)
- 爪が剥がれている、  
ずれている
- 強い痛みがある
- 腫れている

### 異物の確認

- 何かが刺さっている
- 異物が残っている

### 傷の洗浄

- 水道水で※  
傷を  
しっかり  
洗浄する  
※消毒液の使用は推奨  
されていません。

- シャワーを  
使用してもよい
- 土、砂利などを  
よく洗い流す

洗浄後に10秒程度、  
清潔なガーゼ等で  
傷口を軽く  
押さえる。

手指の外傷発生

止血  
できたか

できた

できない

指の切断  
の有無

なし

あり

大きな傷  
深い傷  
動物に  
かまれた傷  
の有無

なし

あり

異物  
の有無

なし

あり

清潔なガーゼ等でしっかり圧迫止血

119番  
通報

患部をガーゼ等で覆い  
速やかに医療機関を受診

▪ 外科 ▪ 整形外科

ワセリン塗布や、家庭用創傷パッドにより保護し、  
適宜洗浄して観察する。



## ゴール等の転倒による事故事例

|     |          |              |        |
|-----|----------|--------------|--------|
| 事例1 | 小学校 4年・男 | 体育<br>(サッカー) | 運動場・校庭 |
|-----|----------|--------------|--------|

体育の授業中、サッカーのゲームをしていた。ゴールキーパーだった本児童は、自陣がゴールを決めて得点を入れたことに喜んでサッカーゴール(ハンドボール用ゴール)のネットにぶら下がった。その際、バランスを崩して地面に倒れ込んだ。直後にゴールポストが転倒し、倒れてうずくまっていた本児童の肩・背中を圧迫した。救急車を要請し、ドクターヘリにて移送され治療を受けたが同日死亡した。(溺死以外の窒息死)

|     |          |                     |        |
|-----|----------|---------------------|--------|
| 事例2 | 中学校 2年・女 | 体育的部活動<br>(ハンドボール部) | 運動場・校庭 |
|-----|----------|---------------------|--------|

部活動の準備中、ハンドボールゴールの中で準備をしていたが、突然の強風で倒れてきたゴールが左頬、首筋に当たった。(外貌・露出部分の醜状障害)

|     |           |                   |        |
|-----|-----------|-------------------|--------|
| 事例3 | 高等学校 2年・男 | 体育的部活動<br>(サッカー部) | 運動場・校庭 |
|-----|-----------|-------------------|--------|

部活動終了後、翌日の準備のため、サッカー部員とともにサッカーゴールを運搬していたところ、サッカーゴールを乗せる台座の上で、本生徒の左手中指と薬指がサッカーゴールと台座の間に挟まれ、中指が切断された。(手指切断・機能障害)



# ゴール等に「ぶら下がり」「跳びつく」は絶対ダメ！

## 力センサを用いた転倒実験結果

※力センサとは、押したり、引っ張ったりする際の力を計測する装置

**転倒に要した引っ張り力** 人がゴール等を引っ張り、倒れる力を計測した。  
(サッカーゴールで重り・固定なしの場合)

|                |        |
|----------------|--------|
| アルミ製ゴール(標準)    | 約24kgf |
| アルミ製ゴール(奥行が深い) | 約33kgf |
| 鉄製ゴール          | 約50kgf |



## ゴール等が転倒

※kgfとは、力の大きさを表す単位

1人がぶら下がって揺らした場合の水平荷重は、

**最大  
約41kgf**

**平均  
29kgf**

の力がかかる。

(中学生男女10人に一人ずつ、鉄棒上の試験装置にぶら下がって揺れてもらい、棒に掛かる荷重を計測した場合)

## 結論

- ・重りなしのゴール等は人がぶら下がるだけで転倒する。  
→転倒の衝撃で頭蓋骨骨折のリスクがあり、多くの死亡や重症事故事例があります。
- ・「ぶら下がり」「跳びつく」などは命に係わる危険な行為である。

 この実験結果の数値以下で、ゴール等が転倒しないと証明されたわけではありません。



人がゴール等を引っ張った実験の様子



ぶら下がって揺らす実験の様子



# ゴール等は強風で転倒する！

## 強風を受けた際にゴール等を倒す力の数値計算(例)

(ゴール等のパイプの太さ(直径)が12cmの場合)

強風(瞬間最大風速30m/sで、平均風速だと15～20m/s)では80kgf以上の力がかかる。

|         |   |        |
|---------|---|--------|
| 風速20m/s | ▶ | 35kgf  |
| 風速25m/s | ▶ | 55kgf  |
| 風速30m/s | ▶ | 80kgf  |
| 風速35m/s | ▶ | 108kgf |

これらの数字は、ゴールの形状などによって変わるため、目安としてお考え下さい。

※kgfとは、力の大きさを表す単位

ゴール等が転倒



## 結論

- ・数値計算によれば、ゴール等は、強風の際に、容易に転倒する可能性がある。
- ・転倒しにくくするため、重り、杭で固定しましょう。



この数値以下で、ゴール等が転倒しないと証明されたわけではありません。

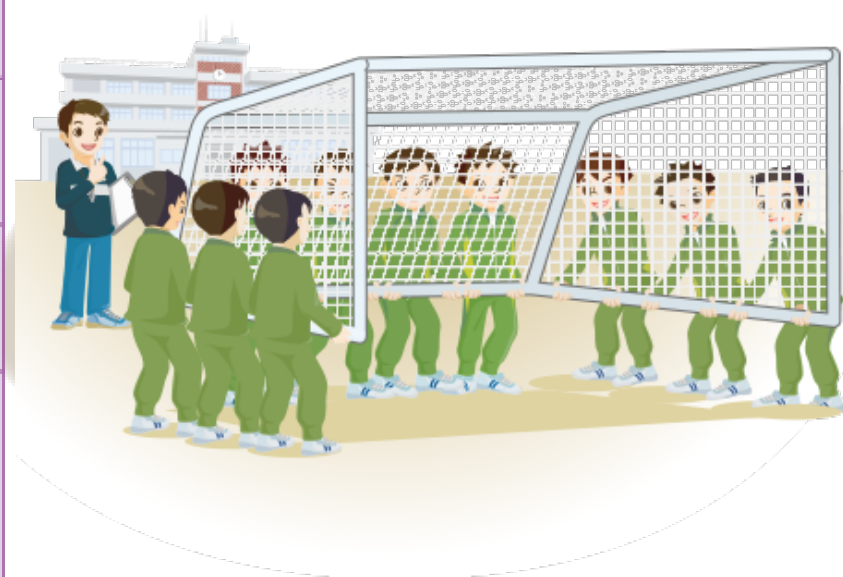


# ゴール等の「移動」「設置」する時のケガに注意！

## 注意点

1. 必ず指導者の立ち会いのもと、「移動」「設置」を行う。
2. 全員が大きな声で声掛けをする。

| 負傷名         | 場合          | 学校種  | 学年 | 性別 | 災害の状況                                                                                  |
|-------------|-------------|------|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 左中指<br>開放骨折 | 体育的<br>部活動  | 中学校  | 2  | 男  | サッカー部の部活動中に、サッカーゴールの移動のため、部員21人で、サッカーゴールを台車の上に傾けていた際に、急に倒れてきて、左手第3指をゴールと台車の間に挟んだ。      |
| 頭部打撲        | 保健体育        | 中学校  | 3  | 女  | 体育の授業中に運動場で、クラスの友達とサッカーゴールを移動させようとして、ゴールが傾き、左後頭部を打撲した。                                 |
| 右足挫傷        | 体育的<br>部活動  | 高等学校 | 1  | 男  | サッカー部の練習が終わり、ゴールを移動させ片付けをしていたところ、誤って自分の右足に落としてしまった。                                    |
| 左足関節<br>捻挫  | 競技・<br>球技大会 | 中学校  | 2  | 男  | 球技大会の片づけで、移動設置式のハンドボールゴールを運んでいた。運搬中に足元の段差に気づかず転んでしまった。その際に、ゴールから手を放してしまい、ゴールが左足首に落下した。 |



## プールでの事故事例

事例1

小学校 5年・女

課外指導(水泳指導)

プール

市の水泳記録会の練習で、準備運動をした後に、25mクロールを4本泳いだ。休憩時間に気分が悪くなったため、練習を休んでいたが、症状は軽減せず、気分不良や顔面蒼白などの熱中症症状が現れた。(熱中症)

事例2

中学校 1年・男

体育的部活動  
(水泳部)

プール

水泳部活動中、プールサイドにいた顧問がプールの水面にうつ伏せになっているのに気づき、本生徒をプールサイドに引き上げた。プールの底に頭部を打ったと思われる。教員により心肺蘇生法、AED等を行い、救急車で病院へ搬送。救命措置がとられたが、死亡した。(頸髄損傷)

事例3

高等学校 2年・男

体育的部活動  
(野球部)

プール

野球部の活動中、クールダウンのためプールに入っている際、飛び込みに失敗してプールの底に頭を強打した。救急搬送され治療を受けたが、頸椎骨折、頸髄損傷により、四肢麻痺が残った。(精神・神経障害)



# 学校屋外プールでの熱中症対策例

プール内に日陰を作る。

遮光ネットなど

児童生徒等の足を守る。

サンダルなど

誰でも自由に身体を冷やすためのグッズを用意する。

団扇など

スポーツドリンクなど

氷のう・保冷材など

氷や冷却用の  
タオルなど

児童生徒等を集合させる  
場所は直射日光を避ける。

テント設営など



高温多湿になる更衣室を  
冷やす。(空調がなければ、  
なるべく利用を避ける)

エアコンなど



水温の上昇抑制のため、直射日光を遮る。

水面をシートで覆うなど

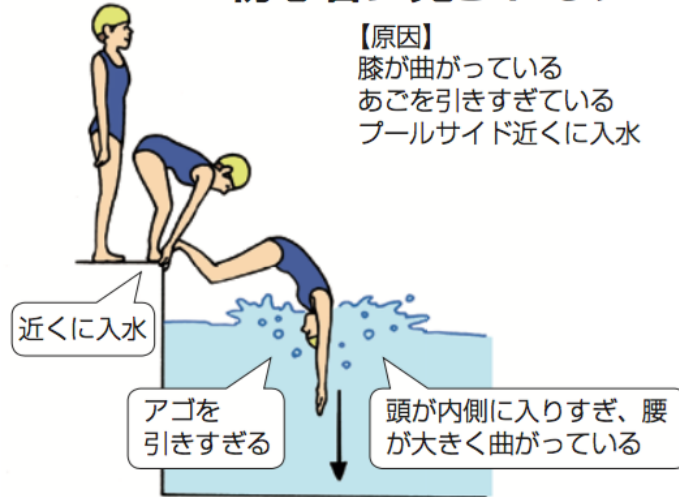
**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

平成30年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業  
「学校屋外プールにおける熱中症対策」より

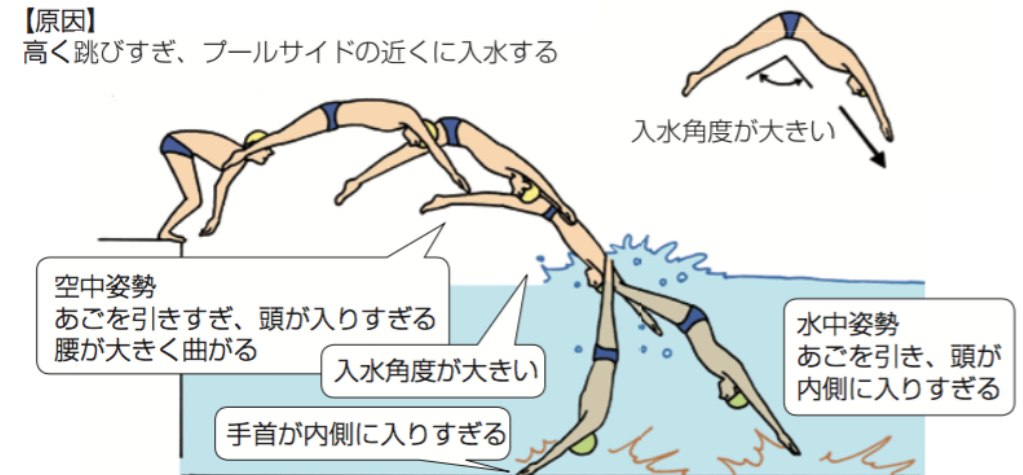


# 飛び込み事故の原因

## 初心者に見られるケース



## 熟練者に見られるケース



## 飛び込み事故防止対策の指導ポイント

学習指導要領解説では、スタートの指導について次のように明記しています。

|      |                                         |
|------|-----------------------------------------|
| 小学校  | 水中からのスタートを指導するものとする。                    |
| 中学校  | 泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること。       |
| 高等学校 | スタートの指導については、段階的な指導を行うとともに安全を十分に確保すること。 |

# 飛び込み事故防止

# 入水は、Foot First!

(足から先に)

⚠ 逆飛び込みは危険です ⚠

プール、海、河川等、どんな場所でも、必ず足から入水しよう!



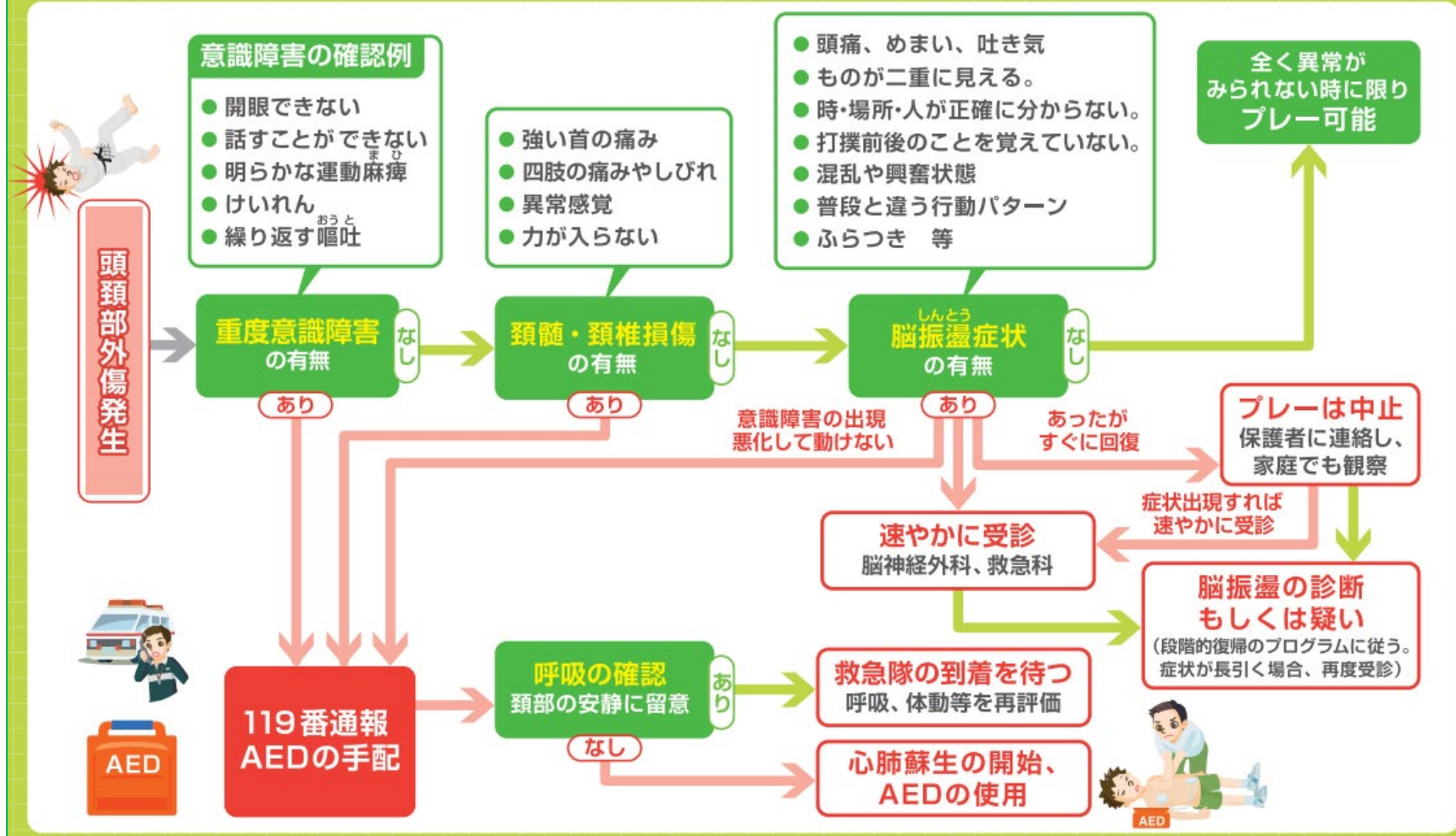
JAPAN SPORT  
COUNCIL

日本スポーツ振興センター



# 事故発生時の対応

## 頭頸部外傷への対応



# 溺死事故を防ぐために

- 1 水泳シーズン前に生徒と保護者に注意及び連絡事項をプリントで配布し、持病等について記録しておく。**授業直前であっても体調がすぐれない場合は入水させない。**
- 2 授業時間を利用して、医学的、応急処置的知識を伝えておく。
- 3 水泳の練習は、3～4人グループで行い、泳法検査は泳者1名、水中1名ないし2名、プールサイド(上方)から観察させ、フォームの点検をさせるとともに、事故をできるだけ早く気付くようにする。**バディシステムでの点呼、人員確認。**
- 4 水球や自由練習の際は、教員、見学者がプールの最低4コーナーには監視に立ち、活動が止まった生徒や様子のおかしい生徒には話しかけ、異常を教員に知らせるように指導する。
- 5 入水前に  (OK)サイン、 (good)サインなどのサインを決め、徹底しておく。**サインが出ない時は緊急事態。**
- 6 見学者には電子ホイッスルを持たせ、異常を知らせるようにする。**呼気によるホイッスルだと、吹き方によって聞こえない場合があるので注意。**
- 7 ホイッスルの合図で動作を止める習慣をつける。
- 8 溺者が出てしまった時のために、シーズン前から用具の点検、整理整頓、蘇生法の練習を怠らないこと。



# 学校屋外プールでの事故防止について

## 1 「溺水の事故防止」

- ・高い位置から水面だけでなく、水中も注意深く監視する
- ・バディによる監視を行う 等

## 2 「児童生徒への指導」

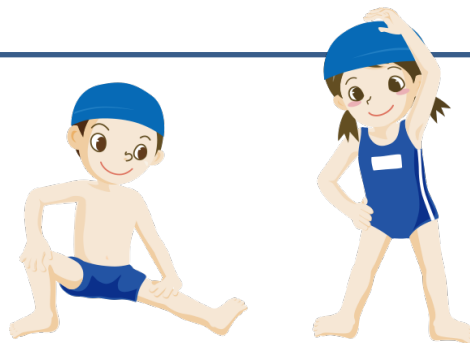
- ・指導者不在の時には入水させない
- ・ふざけたり、プールサイドを走らせない 等

## 3 「児童生徒の健康状態の把握」

- ・健康状態、健康相談の実施
- ・定期健康診断や  
学校生活管理指導の活用 等

## 4 「施設・設備の安全管理」

- ・水温、水量の確認、AEDの設置場所
- ・排水口の蓋、破損個所の点検・修理
- ・障害物を置かない 等



## 落雷事故

事例1

高等学校 1年・男

体育的部活動  
(野球部)

学校外・運動場

他高校のグラウンドで野球の練習試合を行っていた。守備についていたところ突然の落雷に遭い負傷した。(事故発生時、雲は出ていたものの晴れており、雷鳴等落雷の兆候は全くなかった。)高校に隣接する消防署員の救命処置を受け、救急車で病院に搬送・入院加療を行ったが、意識は戻らず数か月後に死亡した。

事例2

高等学校 2年・男

体育的部活動  
(野球部)

運動場

練習試合を実施していた。午後の開始早々に雨が降り、約20分後、雨も上がり雲も切れてきて青空も見えてきたので、公式審判員と両校の監督とで、試合を続投することになった。マウンドに本生徒が立ち、ボールを投げ、キャッチャーから返球されたその時、突然雷が本生徒の頭に落ち倒れた。救急車の手配、心臓マッサージ、AED等の救急処置を続け、その後ドクターヘリで病院に搬送され、措置を受けたが同日死亡した。

事例3

高等学校 2年・男

学校行事(体育祭)

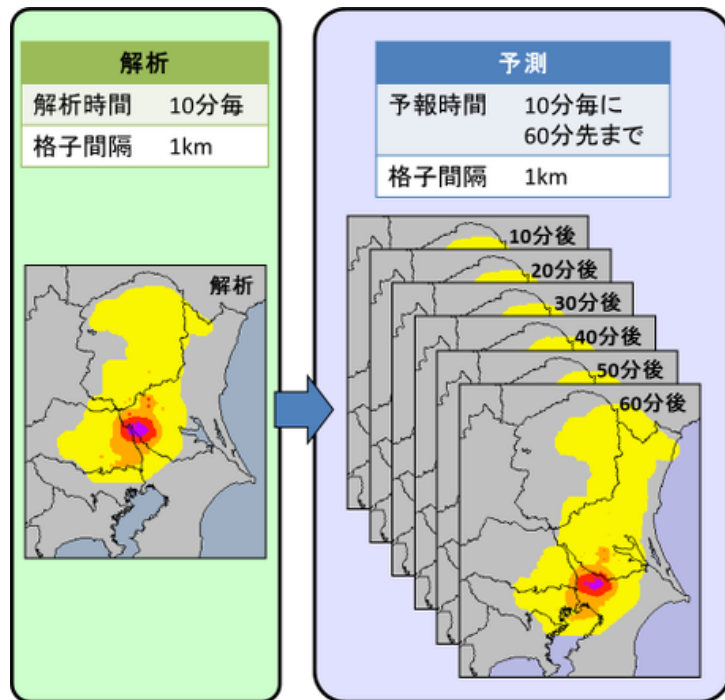
運動場

体育祭の午後からの応援合戦中、本生徒がスタンドで応援していた際、近くで落雷があった瞬間、足から下半身にしびれが走った(下肢切断・機能障害)。



# 事故防止と発生時の対応

## 雷ナウキャスト



### ●事故防止●

・雷ナウキャストや落雷探知機を活用し、雷の状況をチェック、避難場所の確保と速やかな移動のためのシミュレーション。

・雷に遭遇した場合は、姿勢を低くし、安全な場所に避難。

・鉄筋コンクリート製の建物や自動車、バス、列車等は比較的安全。野外では、くぼ地に身を伏せ、高い木、電柱などの高い物体から離れて、姿勢を低くする。

### 落雷探知機



### ●落雷（電撃傷）●

・意識が無くなる

・電流の通った手、足などに深い熱傷

・跳ね飛ばされて外傷を受ける危険がある

・手足が一時的にしびれる。

・呼吸停止、心肺停止

### ●発生時の対応●

・意識障害・呼吸停止・心停止に対しては一次救命処置、熱傷や外傷に対してはそれぞれの応急救治を行う。



| 活動度 | 雷の状況   |                                |
|-----|--------|--------------------------------|
| 4   | 激しい雷   | 落雷が多数発生している。                   |
| 3   | やや激しい雷 | 落雷がある。                         |
| 2   | 雷あり    | 電光が見えたり雷鳴が聞こえる。落雷の可能性が高くなっている。 |
| 1   | 雷可能性あり | 現在は雷は発生していないが、今後落雷の可能性はある。     |

# 知って、防ごう、学校事故



事故事例や学校安全啓発資料はコチラ！

災害共済給付Web

検 索

QRコードからも  
アクセス可能です



ぜひご活用ください！

資料請求等、お問い合わせは広島業務推進課まで  
☎ 082-511-2822



# ※参加者アンケートにご協力お願いします。

令和7年度（Web回答用）講習会・  
説明会 参加者アンケート



## アンケート設問に関するお願い

本日の講習会・説明会は、

「災害共済給付制度に関する説明」→ **受けた**

「事故防止に関するご説明」→ **受けた**

と、ご入力ください。

